



ふるさとびより

白山市国際交流協会 Hakusan International Association

No.8

2009年10月発行

青少年ホームステイ交流2009夏

今年の青少年ホームステイ交流は、イギリスポストン町からは第8回ホームステイ交流団として中学生20名と引率教師3名が7月12日から24日までの12泊13日の日程で本市を訪れました。また、中国溧陽市からは第2回ホームステイ交流団として、中学生10名と引率教師等4名が7月31日から8月6日までの6泊7日の日程で訪れ、いずれもホームステイを通して、友好を深めるとともに白山市の自然や文化を体験しました。なお、オーストラリアペンリス市への高校生派遣事業は、新型インフルエンザの影響を受け、来年夏に延期されました。

松任西幼稚園を訪問し、交流するポストン町中学生



▲白山郷公園でグラウンドゴルフを地元の方とプレーしたポストン町・白山市中学生



▲浴衣を着て、川畑社中の指導により琴演奏を体験する溧陽市中学生（ふるさと館にて）

C・O・N・T・E・N・T・S

■特集 青少年ホームステイ交流2009夏	1~2	■国際交流サロンのページ	6
■H.I.A.トピックス	3	■JICA現地レポート	7
■H.I.A.だより	4~5	■あなたも親善大使お便りコーナー	7
■JETのひろば	5	■H.I.A.からのお知らせ	8

思い出のフォトアルバム

イギリス・ボストン町中学生



▲旧美川町の時からホスト校となっている美川中学校。吹奏楽演奏で大歓迎を受けました。



▲自然に囲まれた白嶺中学校では野球部に参加しました。



▶さよならパーティーでは、ミュージカル「マンマミーヤ」やシェイクスピアの「真夏の夜の夢」を披露したボストン町中学生



▲白嶺中学校の生徒の皆さんと絵手紙、書道、折り紙などたくさんの交流を行いました。

中国・溧陽市中学生



◀尾口地域の目附谷川で岩魚つかみを体験。中学生も先生も大はしゃぎ。川ではダイビングも楽しみました。



▲北星中学校を訪問し、茶道部に参加しました。



▲ホストファミリーと対面する溧陽市中学生（右）

白山市プログラム

今年22年目を迎える世界留学生交流（ジャパネット）で、白山市は8月20日から23日までの3泊4日の日程で、25の国と地域から55名の留学生を受け入れました。滞在中は市内の40のご家庭でホームステイを行い、市民の皆さんと心の交流を図りました。滞在中の市プログラムとして、留学生がグループに分かれて、各地点で課題に取り組み“追跡ハイク”を行いながら、鶴来地域のまち歩きを楽しみました。午後からは、白峰地域を訪れ、同地域に伝わる「牛首紬」の白山工房で機織りを体験した後、民俗資料館では、伝承のおやつ「かましいいりこ」を試食し、本市の伝統や風土を満喫した様子でした。



▲追跡ハイクの課題のひとつは「梅酒の試飲をする」

追跡ハイクでまち歩き in 鶴来



▲次の課題は「参道の階段は何段？」

◀白山比咩神社では、観光ボランティア金丸さん（右）の説明を受ける



▲牛首紬の工程を見学

伝承文化を体験 in 白峰



▲民俗資料館で“かましいいりこ”を試食

ホストファミリーの声

- 初めて中央アジアの方を受け入れたのですが、ニュースだけでは分からない国々の事情を知ることができました。
- お2人ともとても明るく進んで食事の後片付けを手伝ってくれ、ラオスの民族衣装を持参し、記念写真を撮り、楽しい3日間でした。
- 孫たちと仲良くなり、別れる朝は6歳の孫はメソメソクシクして、抱きついて別れを惜しまました。
- 来日して6か月の留学生だったので、日本の家庭は初めてで、食事、畳、仏壇など驚きがいっぱいあったようです。



H.I.A. だより

ペンリス市との交流20周年で関係者来市

4月19日～24日

今年ペンリス市との交流20周年を迎えることから、11月に現地で開催される交流事業の準備と打ち合わせのために、ペンリス市美術館最高責任者のジョン・カークマンさんと写真家ハロルド・デイビッドさん、市国際友好委員会理事のウォード智子さんの3名が本市を訪れました。交流事業についての打ち合わせを行ったほか、ペンリス市企画の写真展「ユニホームワールド」でユニホームを着た市民の写真展を開催するためその撮影も行われました。11月には、行政、文化交流関係者や市民で構成される市友好訪問団がペンリス市を訪問します。



▲ユニホームを着た市民を撮影するデイビッド氏

国際理解講座「アメリカを学ぼう」

6月24日、7月8日

アメリカ出身の市ALT(外国語指導助手)を講師に、アメリカを学ぶ英語講座を2回シリーズで開催しました。1回目は、ジョン・マーブルさんが、出身地のミズーリ州や住んだことのあるカリフォルニア州、テキサス州を中心に、2回目は、ジョセフ・ディールさんが出身地のアリゾナ州や来日前に在籍していたアメリカ陸軍での生活などをスライドを交えながら英語で紹介しました。ともに30名の協会員が受講しました。

白山市で北陸都市国際交流連絡会を開催

7月3日～4日

北陸3県の自治体関係者等が集まり、国際交流の情報交換の場として相互に連携し、多文化共生の地域づくりをめざすことを目的に毎年開催されている同連絡会(総会及び研修会)が、市内のシーサイド松任で開催されました。同連絡会には各自治体や協会関係者のほか市民レベルで活躍しているNPOやボランティア団体など約60名が参加して、姉妹都市交流のあり方や外国人市民の抱える課題などについて、意見交換しました。本市からは、市職員のほか、国際交流サロン職員、ボランティアグループ「モーニンググローリー」のメンバーも参加しました。

こどもクッキング教室「ブラジルのお菓子を作ろう」

7月28日

夏休み特集として実施した同講座には、応募のあった小学生25名が参加しました。県国際交流員のブラジル出身の原口リリアンさんが講師となり、チョコレート菓子のブリガディオとチーズパンのパオン・デ・ケイジョの2種類を作りました。誕生パーティーにはかかせないというブリガディオ作りでは、出来上がったチョコに思い思いの飾りつけを楽しんでいました。

Let's go バーベキュー

7月19日

ボランティアグループ「モーニンググローリー」は、主にサロンで日本語を勉強する外国人市民の皆さんに、日頃のストレスや悩み、疲れを少しでもいやし、楽しい時間を過ごしてもらおうと河内ふるさと保養センター清流でバーベキュー交流会を実施しました。交流会には、中国、フィリピン、ベトナム、インドネシアなど7カ国28名の方が参加しました。バーベキューのほか、川遊び、釣り堀での魚釣り、温泉入浴も体験し、楽しい夏の休日を過ごし、参加した皆さんは笑顔で「またこんな機会がほしいです」と語っていました。



▲バーベキューを楽しむ外国人市民の皆さん(ふるさと保養センター清流にて)

自山市ロシア協会・露日協会 ウスリースク支部との友好交流

白山市ロシア協会と民間協定を提携している露日協会ウスリースク支部のピヤノヴァ・オリガ会長をはじめ同支部会員ら4名の訪問団が4月7日から10日にかけて、本市を訪れました。滞在中は、角市長を表敬訪問し、市内の企業4社と松任石川中央病院などを精力的に視察しました。

また、その答礼訪問として、杉本典昭市議会議長を団長とする訪問団が、9月29日から10月4日にかけて、現地を訪問し、ウスリースク市長と懇談します。

ロシア・ウスリースク市との交流写真展

期間：10月23日(金)～25日(日)午前まで

場所：市民工房うるわし2階展示室

主催：白山市ロシア協会

ぜひ、ご覧ください。

H.I.A. だより

JICA 青年海外協力隊員、出発のあいさつ

9月16日

開発途上国で国際貢献する青年海外協力隊の平成21年度第2次隊として、本市出身の2名が、出発にあたり、角市長を表敬訪問しました。派遣されるのは、柴田千尋さん(橋爪町出身)と長瀬拓巳さん(長竹町)です。柴田さんは、エルサルバドルで助産師としてのキャリアを生かし、地域の保健センターで妊産婦の診療をはじめ、母子保健指導を行います。長瀬さんは、インドの青少年やナショナルチームの強化選手に日本の柔道の技術と精神を広めることになっています。お2人は9月28日に出発し、任期は2年間です。



▲派遣にあたり抱負を語る協力隊員の柴田さん(左)と長瀬さん(右)

ロータリークラブ交換留学生

“1年間よろしくお祈いします”

白山ロータリークラブの交換留学生、米国フロリダ州出身のマイケル・チョンさんと白山石川ロータリークラブの交換留学生、同ニューヨーク州出身のサンドラ・エバンスさんが、8月26日、来市あいさつのため角市長を表敬訪問しました。お二人はそれぞれの会員宅にてホームステイをしながら、マイケルさんは翠星高校に、サンドラさんは松任高校に、来年の夏までの1年間通学します。



「マイケルです」



「サンディです」

JETのひろば

白山市の英語教育は私たちに任せて!

本市の小中学校で英語を指導する外国語指導助手(ALT)3名がこの夏、新たに着任されましたのでご紹介します。

- ①名前 ②出身地 ③趣味
- ④JETプログラムに申し込んだきっかけ?
- ⑤これからの抱負
- ⑥好きな言葉
- ⑦旅行するとしたら、どこへ行きたいですか?
- ⑧みなさんへメッセージ



①キャサリン・ロバートソン

- ②イギリス・リンカンシャー州グランサム市
- ③フルート演奏、読書、音楽鑑賞、映画鑑賞
- ④筑波大学に1年間留学していた時に、日本が大好きになり、また戻ってきたいと思っていた。子どもと接するのが好きだから。

⑤日本語を習得し、日本文化をできるだけ体験したい。学校では生徒の皆さんに授業を楽しんでもらいたいし、授業以外でも話しかけてきてほしい。

- ⑥元気
- ⑦日本中を旅行したい。札幌の雪まつり見学と沖縄でスキューバーダイビングをしたい。オーストラリアとニュージーランドにも行きたい。
- ⑧これからの白山市の生活が楽しみです。見かけたら、声をかけてくださいな。



①コリー・タケウチ

- ②アメリカ・ジョージア州アトランタ市
- ③ジャズ(ピアノとサクソフォーン演奏)、読書、書くこと、旅行、スポーツ
- ④父が広島出身であるため、私のルーツである日本をもっと知りたいと思ったから。アメリカと日本の交流推進に貢献したいと思ったから。

⑤日本語の上達と指導力の向上。日本文化を学ぶとともに、生徒の皆さんに知られていないアメリカを紹介したい。

⑥母の出身地であるイスラエルの神父 RAV TARFON の言葉で「やるべきことを最後まで終わらせる必要はないが、やらないのはもったいない。」

- ⑦広島県、中国、韓国、ベトナム
- ⑧これから1年間、お互いに学びあいましょう。



①ショーン・バレット

- ②アメリカ・ペンシルバニア州フィラデルフィア市
- ③スケボー、楽器演奏(ギター、ドラム、キーボード)
- ④日本が好きだから。新しい人と会いたい。楽しみたい。
- ⑤(自分には)日本語の向上(生徒には) Be radicool! (改革的でかつよこあれ!)

- ⑥ネクター
- ⑦東京、スバル/バル諸島(ノルウェー)
- ⑧元気を出して、頑張ろう!



“サロンのページ”

白山市国際交流サロン利用ガイド

開館時間	午前9時～午後6時		
休館日	月曜日(祝日の場合はその翌日)、 12月29日～1月3日まで		
場所	〒924-0872 白山市古城町2 (学習センター向い、松任文化会館横)		
TEL/FAX	076-274-3371		
E-mail	misalon@asagaotv.ne.jp http://www.asagaotv.ne.jp/~misalon/		

最近の日本語クラス

サロンでは現在70名の外国人の方が勉強しています。国際結婚された人、研修生、エンジニア、ALT等など・言葉や食べ物、日本の習慣などに戸惑いながら頑張っています。最近のサロンに出入りする外国人は出産ラッシュです。中国では出産後、1ヶ月は外出と冷たい物は禁止。日本ではそんなことを禁じていないと知り、とても戸惑ったようでした。日本語ボランティアはそんな悩みの相談を受けることもあります。サロンでは、母国語で話しができるのも外国人にとっては、ストレス解消になります。それに応じて、アドバイスや参考意見をすることもボランティアの皆さんの責任感のある思いやりです。現在63名のボランティアが登録、その内、40名が熱心に活動しています。



サロン外国人コーナー (日本での生活についてのエッセイ)

「鳥になりたい」

張小祥 (中国)

中国人として私は自分の祖国を熱愛しなければなりません。それと同時に私は日本の土地が大好きです。中国で私はよく風邪をひきました。しかし日本の気候のお陰で、今まで一回も風邪をひくことがありません。だから日本の空気がきれいで気候もいいのだと思います。日本はきれいな国です。きれいと言えば、日本の自然がまるで箱庭のように見えるかもしれません。そのうえに日本の素養はすごいです。例えば犬は散歩する時、畑で犬が糞便をした時袋に入れて持って帰ります。これは本当に羨ましいです。とにかく日本は安全で自由で人権などが比較的に尊重された国です。いくら日本が大好きでも帰らないわけにはいけません。もし私が鳥になれば中国と日本の間を自由に行ったり来たりできればいいですね。

「日本の生活」

呉志祥 (中国)

日本に到着した時は目の前に車がいっぱい見えました。そのうえに車が全部道の左側を通行していてその光景に私はびっくりしました。その後私は少しずつ日本の生活に慣れました。それと同時に日本のいろいろな事に私は驚かされました。例えば①スーパーマーケットで毎日半額の商品があります。②日本のテレビのチャンネルが少ないです。娯楽の番組が多いです。日本ではカンフー映画がほとんどありません。③日本の礼儀が素晴らしいです。新年の時に会社の同僚は帽子をはずして相互に頭を下げて挨拶をします。日本の生活はいい思い出になります。もしチャンスがあれば私はもう一度来たいと思います。

「私の人生が変わりました」

ディン・ミン・トム (ベトナム)

私はベトナムのトムと言います。日本で研修生として仕事しながら日本語を学んでいます。日本に来てもう二年になりました。最初日本に来たとき、さっぱり何にも分からなくて大変困りましたが、時間が経つにつれてだんだん慣れてきました。以前より成長したと思います。仕事で新しい技術や機械にふれるたび、勉強になります。身につけた経験を将来ベトナムの人達に教えたり生かしたりしたいと思います。日本が世界で評判のいい安全な国です。環境も綺麗で、平均寿命が世界一と言われています。日本で毎日新しい知識を受けてとても嬉しいです。日本に来たお陰で私の人生が変わりました。これからも残る時間をもっと充実に過ごしたいと思います。

サロントピックス「Welcome back!」

高校生の時、ロータリークラブの交換留学生としてホームステイしていたオーストラリアのサム・トムソンさんが3年ぶりにサロンを再訪。現在、一橋大学に留学中です。背も高くなり、素敵な青年に成長。日本が好きになり再来日とのこと、嬉しい限りです。

サムさんからのメッセージ

3年前に大変お世話になりました本当にありがとうございました。帰国してからずっと松任に戻りたいと思っていました。今年やっと実現しました。サロンの皆様のおかげで多くの日本語が上達したので今年、留学できました。



▲サロンの英語サークルに顔を出してくれたサムさん(中央の男性)

蜂蜜のマーケティングに貢献

Natsue Higashino

こんにちは。今エルサルバドルでは、インフルエンザが流行していて、全国の学校が7月中旬から8月9日まで休校になり、いろんなところでイベントも中止になっています。さて、私の方は3月に着任以来、蜂蜜の商品のマーケティングに力を入れており、その商品のプロモーションでラジオ出演や新聞取材を通して、おかげで営業活動は順調に伸び、大変嬉しいことなのですが、ここに来て、商品が足りなくなるという事態になり、これ以上販売できなくなりました。そこで、9月には70～80人の養蜂家全員に呼びかけて、研修会を開催し、本格的な輸出に向けたプロジェクトを立ち上げようと今、頑張っています。全員参加のもと、大量生産を成功させ、市場展開し外国への輸出を目指すものです。まだまだスペイン語には苦労していますが、生産者、取引先、私の配属先の皆さんは協力的で改善意識も高いのでとてもやりがいがあります。このプロジェクトを実現させ、みんなで喜べる日が来るよう頑張ります。

青年海外協力隊員 東野 奈津恵さん（法仏町）
派遣先：エルサルバドル・ラパルマ市
職種：経済・市場調査 期間：2009年3月～2011年3月

※東野さんの活動レポートは市のHPにて随時更新しています。



◀「現地の人に自分たちの力で商売し、利益を出すことを理解してもらいたい」とスペイン語で指導する東野さん(手前)



▶商品のプロモーションでラジオ出演した東野さん(左)隣の方は、インタビュアー

“あなたも親善大使”お便りコーナー

このコーナーは、草の根レベルで交流を行っている皆さんを紹介するコーナーです。皆さんからのお便りをお待ちしています。

ジャパントント留学生とフィリピンで再会

昨年、ジャパントントで我が家にホームステイしたフィリピン人留学生デニスとは、その後もメール交換やバースデープレゼントを送ったり、交流を続けていました。3月に彼女が帰国したのをきっかけに、去る8月15日～20日にかけて、家族5人でフィリピンのマニラへ会いに行ってきました。

マニラの空港に降り立つと、デニスが大学で迎えに来られないので、代わりに彼女のお父さんが「SHIMOSAKI」と書いた紙を持って待っていました。観光案内やレンタカーの手配、お金の交渉（現地では、旅行客に10倍もの値段をふっかけてくることもあるそうです）など、ずっと同行してくださり、初めての国で緊張していた私たちでしたが、デニス家族のおかげで大変スムーズな旅となりました。

滞在のハイライトは、彼女の家に招待されたことです。デニス一家は華僑ですから、お母さん手作りのシーフードの中華料理をご馳走になりました。1年前に知り合ったばかりなのにこのような縁を頂き、ふつうの観光旅行では味わえない旅を体験でき、家族全員感謝の気持ちでいっぱいです。

下崎 薫（西新町）



市内のレストランにて下崎さん母娘(右から2番目がデニス、右端がお父さん)



デニスの自宅では、お母さん手作り料理でおもてなしを受けました。

第15回国際フレンドシップアート展のお知らせ

本市の親善友好都市等6カ国7都市の子どもたちの作品126点を巡回展示します。今年のテーマは「私たちの街」です。自分たちの街の自慢の風景の作品がメッセージとともに展示されます。ぜひ、ご覧ください。



◀「私たちの街」を描いた力作がいっぱいです。

〈展示日程〉

期 間	展示会場
10月19日～10月26日	市民交流センター 1階シティホール
10月28日～11月4日	白峰小学校
11月10日～11月18日	美川コミュニティプラザ ふれ愛ホール
11月20日～12月3日	プラスあさがお
12月5日～12月14日	レッツホールつるぎ1階ギャラリー
12月16日～12月24日	松任図書館

※上記のほか、作品の出展のあった美川小学校と旭丘小学校でも展示します。

金城大学留学生ホームステイ・ホスト家庭募集

親元を離れ、異国の地で学ぶ留学生に、日本の家庭を体験してもらい、市民の皆さんと心の交流を図っていただく事業です。今年も10名の学生がホームステイを希望しています。ぜひ、ご協力をお願いします。

- ホームステイ期間：10月31日(土)～11月1日(日)の1泊2日
- 募集家庭：10家庭
- その他：10月31日の対面式の後は、それぞれのご家庭でお過ごしいただきます。

「世界の料理と文化を学ぼう」参加者募集

第1回 フィリピン料理

日 時：10月26日(月)
場 所：鶴来保健センター
講 師：嶋リサさん(鶴来地域在住)
内 容：野菜と豚肉を使ったヘルシー料理など

保育室あり

第2回 ブラジル料理

日 時：11月27日(金)
場 所：プラスあさがお松任
講 師：原口リリアンさん(県国際交流員)
内 容：ブラジル豆を使った家庭料理など

ともに、時間：午前10時～午後1時30分

参加費：1回500円、持ってくる物：エプロン、三角巾、手ふきタオル、定員：20名(先着順)

その他/保育室あります。(お申し込みの際にお申し出ください。)

世界の絵本読み聞かせ

(毎月第3土曜日 14:00～・松任図書館)

○10月の絵本 10月17日(土)

ロシアの絵本 (読み手：海原マリーナさん)

○11月の絵本 11月21日(土)

ベトナムの絵本 (読み手：ディン・ミン・トムさん)

HIA事業のお問い合わせ・お申し込みは、ともに

白山市国際交流協会 TEL:076-274-9520

2011～2012年度 国際ロータリー第2610地区(石川・富山) 派遣交換学生募集

白山石川ロータリークラブでは、派遣学生を一般の方からも募集します。

- 派遣先：アメリカ・カナダ・オーストラリアなど
- 応募資格：白山石川ロータリークラブが推薦し、出願時(2010年度)に高校1・2年生であること。
- 定 員：1名(学力テスト及び面接を実施し、決定)
- 派遣期間：2011年8月～2012年7月の1年間
- 申込締切：2010年9月18日まで
- 問 合 先：白山石川ロータリークラブ事務局まで
TEL(076)274-2907/FAX(076)274-2908
E-mail: info@hakusanishikawa-rc.jp

年忘れ国際交流パーティー(事前ご案内)

日時：12月13日(日) 11:30～

場所：サンライフ松任

●今年からは、宗教の違いに配慮し、クリスマスパーティーの名称を変更します(上記は仮称です)。各国の外国人チームによるアトラクション披露、国際交流ゲームなどを予定。一緒に企画し、盛り上げてくれるボランティアスタッフを募集中です。

編集後記

先日、出発あいさつのため市役所を訪れた青年海外協力隊員の柴田さんは、姉妹都市米國コロンビア市との中学生ホームステイ交流プログラムに参加した第1期生である。19年前中学生だった彼女は、その後助産師となり、今後2年間、中米エルサルバドルで国際協力に従事する。帰り際に、中学生の時の体験が影響しているか聞いてみたら、「いつかまた、海外に出てみたいとずっと思っていた。」との答え。嬉しい再会であった。(U)

発行 ■ 白山市国際交流協会(Hakusan International Association)
事務局/白山市役所観光推進部国際交流課
TEL 076-274-9520 FAX 076-274-9546
E-mail: toshikouryu@city.hakusan.lg.jp